

看護教育・管理学講座 紹介

総合実習編

ヘルスケアサービスの水面下にある
看護を可能にする要素を浮かび上がらせ、
管理・教育・情報の側面から
マネジメントする。

本講座の総合実習紹介

問：なぜ、看護師個々が病棟において看護することができるのだと思いますか？看護実践を可能にするものとは何？

患者さんがいるから？

病院があるから？

本講座の総合実習は、患者-看護師間でよいケアがなされるために、直接ケア以外に必要な看護提供の基盤となる重要な観点（事象）を学びます。

キーワードは「管理」「情報」「教育」
これまでの実習とは異なった観点から、看護実践を考える実習です。

【実習目的・目標】

保健医療チームを構成する多様な職種とその役割を理解し、対象を中心としたチームアプローチの実際を通して専門職種間の連携・協働を円滑にするために必要な看護実践能力の基盤を形成する。

複数患者を受け持ちながら、夜勤実習を経験することで、日々の看護実践で活用する情報、情報共有のあり方について考察し、病棟内におけるケアマネジメントを学ぶ。

フェーズ 1

看護の質保証の実現とは
看護提供のためのチームを考える
看護師はどのように思考するか

看護師はどのように考えるか？

フェーズ 2

看護情報の在り方を再考し、
実習中に使用する看護記録を自ら考案する



看護記録作成ワーク

看護記録
どう記載すれば伝わる？

どういった情報が必要？

実習記録とどこが違う？

これまでの実習にない観点
から臨床にアプローチ

フェーズ 3

病院組織の看護を統括する
看護部の役割
看護の質を組織で支えるチーム
(医療安全・地域連携
感染管理等)

中央病院看護管理部講義



報告のワーク

今の報告、SBARになっていた？

看護部長はじめ、管理部の皆様、
ありがとうございました！

看護師がよりよく働けるために
管理部の役割があった！

病棟実習では見えない組織の
在り方がわかった！

最終発表会！（オンライン参加もあり）

フェーズ 4

複数患者をチームで受け持つ
自らが作成した看護記録で情報を管理し、
看護提供に生かす
夜勤実習を通して、看護ケアの継続、
情報の引継ぎを考える

これまでの実習で経験でき
なかつた多重課題と夜勤



複数患者への看護
忙しかった！

フェーズ 5

実習のまとめ 発表

答：病院施設がしっかりと組織化され、正確な情報を、正しく扱い、
そして看護提供できるための教育された人がいるから

看護管理

限りある資源を配分し、安全、効率、そして質保証を実現する医療提供施設（システム）とは

看護情報

看護ケアの根幹である看護の「データ」「情報」「知識」をどのように表現し、
管理し、活用するか

看護教育

現在の医療そして看護を提供できる
看護職がもつべき能力とは？またその
教育とは？

看護実践の質の向上